

令和3年4月26日（月曜日）

【参議院災害対策委】足立敏之議員「防災分野で積極的なデジタル化を」

足立敏之参議院議員は23日に開かれた参院災害対策特別委員会で、防災分野におけるデジタル化に積極的に取り組む必要があるとの見解を示し、内閣府の小此木八郎・防災担当大臣に見解を求めた。小此木大臣は「各機関がさまざまな情報を把握し、共有することにデジタル技術を活用することが重要と認識している」と述べ、関係省庁と連携しながらデジタル技術を活用した取り組みのさらなる高度化を図る考えを示した。



防災分野のデジタル化の見通しを問う足立議員

内閣府では、各種災害情報を電子地図上に一元化するシステムを活用している。具体的には現地で災害情報を集約、電子地図化して各機関に提供する災害時情報集約支援チーム（ISUT）を被災地に送り、孤立集落の解消やライフラインの復旧、被災者支援策の立案などにつなげている。また、昨年12月に設置した有識者によるデジタル・防災技術ワーキンググループが、事前防災や人命救助の場面等における防災のデジタル化推進に向けた提言を5月にもまとめる見通しだ。

足立議員は、3次元の地盤情報をベースにハザードマップを作成する取り組みが進んでいることを紹介し、同情報を共有化できるシステムの開発を要請した。

